

つなげよう つながろう ふたばのわ

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるためのコミュニティ紙です。
自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。
「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。



- ▶ つながり、想い合う～双葉町県中地区自治会(P2～P3)
- ▶ みんなと楽しむ! 元気はつらつ! ～つくばグラウンドゴルフ大会～(P4)
- ▶ 赤い渦巻きの謎～清戸迫横穴(P5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさば(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





～つながり、想い合う～ 双葉町 県中地区自治会

心落ち着く癒しの場所

福島県郡山市とその周辺で生活し活動している双葉町県中地区自治会（以下県中自治会）。現在は90世帯、約200人が会員となっています。2カ月に一度、定例会を実施し、町民同士の情報交換の場づくりや絆を保つための活動が続けられています。

県中自治会は、当初「県中地区借上げ自治会」という名称でした。借上げ住宅に住む方々を対象にした自治会で、どこよりも早く自主的に立ち上げられた自治会です。平成23年12月に自治会発起人会を開催、翌年1月に自治会発足となりました。

避難所となっていたホテルリステル猪苗代が閉鎖され、県中地区で生活を始めた町民が中心となり活動が始まりました。それぞれの生活が落ち着かない中ではありましたが、同じ境遇にいたみなさんの想いは一緒。発足当初から町民同士のまとまりがあったそうです。

発足当初は月に一度定例会を開催し、平成25年度にはNPO法人の支援を受けながら「絆カフェ」を運営し、





場」を運営するなど、町民同士が顔を合わせ同じ悩みを話すことで気持ちが落ち着いたり、心が癒されたりする大事な場となっていました。

協力し合いみんなで楽しむ定例会

6月25日(土)に開催された第44回定例会では、県中自治会初めての取り組みとして参加型の企画、ゲーム大会が行われました。参加者が3つのチームに分かれて3種類のゲームを実施。チームごとの点数で順位を競い、優勝チームにはお楽しみ品の賞品が贈られました。

「楽しくて時間があっという間に過ぎた。またやりたい」

チームで力を合わせてゲームを行った後、参加者からはこんな声が聞かれました。その後の会場の後片付けもみなさんで協力し合い、瞬間に終了。チームワークの良さが感じられました。

今回のゲームに使う道具はほとんどが手作りでした。予算が決まっている中で、参加者のみなさんにどう楽しんでもらえるか、役員のみなさんが試行錯誤して開催されたゲーム大会は大盛況に終わりました。

絆を深め合える場所に

会長の伊藤吉夫さん、副会長の今泉千鶴子さん、事務局長の高田秀文さんに県中自治会について伺いました。

自治会活動が続けてきたことで、現在は会員同士が連絡を取り合える関係が作られています。他地域に引っ越しをしても県中自治会の定例会に参加したり、互いに連絡を取ったり、一緒に同じ時を過ごした仲間なので、離れていてもつながっていると感じることも多いです。それぞれがこの場所ですながつながりたいという気持ち、みんなが想い合っているということが絆であると感じます。

昨年は仙台の双萩会のみなさんとの交流会を実現することができました。今後、他地域の自治会との交流にも力を入れたいと考えています。

活動が続けていくことは、一番大変なことですが、定例会に来た人にどう楽しんでもらえるか、試行錯誤しながら様々な企画を考え、県中自治会をさらに絆を深め合える場所にしていきたいです。



みんなと楽しむ！
元気はつらつ！

つくばグラウンドゴルフ大会



7月5日(火)、茨城県つくば市の並木公園で「つくばグラウンドゴルフ大会」が開催されました。
つくば市やつくば市周辺に住む双葉町民10人が参加し、楽しいひとときを過ごしました。

「ミニゲーム」のきっかけに

つくばグラウンドゴルフ大会は、町民のみなさんの外へ出掛けるきっかけをつくろうと、3年前から開催されています。大会は年に2回ほどのペースで開催され、今回で8回目を迎えました。大会がない間も、みなさんは毎週火曜日に集まって練習をしています。気心の知れた人と世間話をするなど、コミュニケーションを図る場となっています。

勝ち負けではなく、みんながワイワイ

参加者が集まったところで、ゲームスタートです。参加者が3グループに分かれ、8ホール×3ゲームの合計24ホールで順位を競いました。

「いいね！ナイスショット！」参加者のみなさんは、好プレーを連発していました。

日々の練習の成果なのか、ホールインを2回も出した方も。その方に「打ち方教えてよ」と笑顔で声をかける光景が見られるなど、和気あいあいとした雰囲気では進みました。

3ゲームを回りきりスコアを集計、結果発表の時間です。スコアを発表すると歓声や拍手が沸き起こりました。注目すべきは、「頑張ったで賞」に選ばれた最年長89歳の遠藤タケヨさん。「みんなが話すのが楽しいから」と練習・大会に休むことなく参加しており、受賞の際は他の参加者から温かい拍手が送られていました。

地域や世代を超えた交流の輪

「双葉にいたときはやったことがなかったけど、始めたらおもしろくて奥が深い」「グラウンドゴルフを始めてみんなと仲良くなった。家にいるときよりずっと楽しい！」

という参加者の言葉からは、気の合う仲間とプレーを満喫することが、何よりの楽しみという感じが感じられました。

グラウンドゴルフを始めるきっかけをつくった中村希雄さんは、「最近では双葉町以外の人や地元の大学生も交えてやっている。今後は地域交流の場にもなればうれしい」と話していました。

今回のグラウンドゴルフ大会のような、みなさんで集まって楽しむイベントは各地域でも行われています。交流の輪が広がり、充実した時間を過ごすことができるので、ぜひ一度参加してはいかがでしょうか。



「頑張ったで賞」を受賞！
「遠藤タケヨさん」



2度のホールインワン
達成！「上原滋さん」



ふたばの
イトコ
再発見！

清戸迫横穴

赤い渦巻きの謎

清戸迫横穴は双葉町新山字清戸迫地内にある、約350基の清戸迫横穴群のうちの76号墓です。昭和42年11月3日に双葉町立南小学校新築にともなう敷地造成工事中に発見されました。当時の衣装の詳細や動物がはっきり見分けられるようなきめ細かく写実性高い描き方は、類例の少ない貴重な壁画であるとされ、翌年5月11日、国の史跡に指定されました。

清戸迫横穴は日本を代表する壁画です。

現在は帰還困難区域の中にあり、保存・管理について様々な課題はありますが、後世に残し伝えていくためにも、この清戸迫横穴の壁画がどんなことを意味しているのか、友人や家族と話し合ってみてはいかがでしょうか。

清戸迫横穴図鑑



基本情報

時代

古墳時代終末期(7世紀前半)

横穴の大きさ・形

幅2.84m、奥行5.15m、高さ1.56m
断面形はかまぼこ型

壁画

- ▶筆を用い、赤色のベンガラで描かれている
- ▶壁画全体の意味するもの、モチーフごとの解釈については諸説あり
- 人の魂を鎮めたり、死者の霊を慰めたりする儀式に関するもの？
- 描かれている人物は墓主？現世に残る子孫？
- 渦巻文は太陽？もしくは鏡？それとも死者の世界を表している？

さらに清戸迫横穴を楽しむためのポイント

- ◎中央の渦巻文の右に描かれている手をかざした人物は76cm。古墳、横穴墓の壁画に描かれている人物としては国内最大！！
- ◎壁には2種類の金属の工具痕が残っている。少なくとも2～3人で横穴を掘ったと推測され、向かって壁の右側は乱雑に、左側は丁寧に掘られている。掘った人の性格が表れているとも想像できる。
- ◎穴の中にはコウモリの爪の痕がある。一時期横穴の入口が開いてしまい、コウモリが出入りしていたと考えられる。

※資料提供：双葉町教育委員会

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



6月10日
県北ふたば会
日帰りバスツアー(山形県内)



6月11日
双葉の男 料理教室in南相馬
(南相馬市)



6月19日
双葉町交流会in埼玉
(川越市)



6月22日
ふたば交流広場
ママサロン(加須市)



6月28日
いわきまごころ双葉会
日帰りバスツアー(会津地方)



7月10日
相馬流れ山踊り
双葉町・大熊町合同練習(いわき市)



7月13日
せんだん広場
民謡教室
(郡山市)



7月13日
双葉町社会福祉協議会
タブレットコミュニティ集会
(加須市)



7月14日
白河郭内仮設住宅
交通安全・防犯教室(白河市)

町からのお知らせ

制度

建退共制度を知っていますか？

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です。

事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主

建設業を営む方

対象となる労働者

建設業の現場で働く人

掛 金

日額310円

平成28年4月1日から建退共の制度が一部変更になりました

①退職金の予定運用利回りが2.7%から3.0%に変更されました

②退職金の不支給期間が掛金納付月数12月未満に緩和されました

(遺族請求は従前通り12月未満で変更ありません)

③被共済者による移動通算の申出期間が3年以内にまで延長されました

④移動通算できる退職金額の上限が撤廃されました

建退共から事業主のみなさんへのお願い

- ・共済証紙は、労働者の就労日数に応じて適正に貼付してください
- ・「建設業退職金共済手帳」を所持している労働者が、建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください

建退共のホームページに、制度説明用動画、Q&A など建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧ください！

建退共

検索

【問い合わせ先】〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共催事業本部 事業推進課

TEL 03-6731-2866 FAX 03-6731-2895

相談

中間貯蔵施設に係る 弁護士相談窓口のご案内(平成28年8月)

要予約
相談無料



中間貯蔵施設の建設に伴い町民のみなさまが抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談窓口を設置します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について、アドバイスを聞くことが出来ます。

●相談できること

中間貯蔵施設建設に伴う契約、地上権、
相続等について

(相談窓口の弁護士は直接価格交渉に関わることはできません)

●対 象 者

双葉町内の中間貯蔵施設
建設予定地内の地権者の方

●相 談 料

無料

●相談時間

1回につき30分以内

●開催場所及び開催日時

実施場所	開催日	開催時間	所在地
双葉町役場いわき事務所	平成28年8月18日(木)	午後2時から午後5時	福島県いわき市東田町2-19-4
双葉町役場郡山支所	平成28年8月25日(木)	午後2時から午後5時	福島県郡山市朝日1-20-2
双葉町役場いわき事務所	平成28年8月31日(水)	午後2時から午後5時	福島県いわき市東田町2-19-4

※平成28年9月分は8日、15日、30日に開催を予定しています

●申込方法 事前申込になりますので、下記まで御連絡をお願いします

【申込み・問い合わせ先】双葉町役場建設課 TEL 0246-84-5209

受付時間:午前8時30分から午後5時15分(平日)

お詫びと訂正

ふたばのわ第33号5ページに掲載しましたふたば音頭諸碑除幕式の
写真について誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

正 桜本峰観(良生)さん
誤 山岡賢舟さん

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成28年7月22日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 0.08~0.19
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 0.06~0.08
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 0.11~0.21
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 0.08~0.33
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 0.16~0.24
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 0.04~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 0.06~0.09
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 0.07~0.09
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 0.10~0.17
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 0.19
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 0.11
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 0.08
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.06

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 0.04
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 0.08
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 7月22日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.71
新山	新山公民館	—	0.49
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.44
新山	双葉南小学校	—	0.54
新山	双葉中学校	—	0.25
新山	県立双葉高等学校	—	0.29
新山	中央公園	—	0.63
下条	双葉総合公園	2.60	1.03
下条	双葉町役場	—	0.35
郡山	郡山公民館	1.48	0.58
細谷	細谷公民館	2.31	0.76
三字	三字公民館	2.53	1.03
山田	山田農村広場	24.47	7.46
石熊	石熊公民館	12.10	4.14
長塚	双葉町体育館	6.25	2.17
長塚	長塚二公民館	3.26	0.99

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 7月22日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.35
長塚	町西住宅	—	0.51
長塚	JAふたば北部営農センター	—	7.06
長塚	双葉北小学校	—	2.02
長塚	ふたば幼稚園	—	1.81
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.46
長塚	双葉町児童館	—	0.39
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.77
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.66
寺松	寺松公民館	3.46	1.38
渋川	渋川公民館	1.48	0.57
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.77
中田	中田公民館	0.77	0.32
両竹	両竹公民館	0.54	0.11
浜野	浜野公民館	0.34	0.09

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

今月号では『清戸迫横穴』を紹介しました。南小学校の建設中に発見されたこの壁画、私も南小学校へ通っていたため、幼いころからなんとなく身近な存在でした。今回、記事を書くために調べてみると1ページでは書ききれないほどのエピソードがありました。「謎が多いからこそ、研究者も一般の人も様々な想像を働かせて議論できることが考古学の醍醐味」町教育委員会担当者からはそんな言葉を聞くことができました。

「この人物は何歳ぐらいなのか」「なぜこのような髪型をしているのか」考えれば考えるほど、想像が膨らみます。この夏、ぜひ友人や家族と「清戸迫横穴」について話してみたいかがでしょうか。
(ふたさぼ 山根)

後世に残したい双葉町

自宅から近かったこともあり、郡山海岸は幼い頃から身近な遊び場でした。小学生の頃までは砂浜が堤防から海辺まで50mほどあり、遠浅で波が穏やかな海水浴場として、夏になると地元の人や多くの観光客で賑わっていたのを覚えています。一番の思い出は中学生の頃に友達とキャンプをしたことです。昼は海水浴と釣り、夜はバーベキューや花火をして楽しみました。また、当時好きだった女の子の話で盛り上がったのも青春時代の思い出の一つであり、いつかまた、当時の友人たちと同じ場所でキャンプがしたいです。

これから復興が進み、町並みや風景も少しずつ変わっていくと思いますが、郡山海岸は当時と変わらない姿であってほしいと願っています。

